

夢で 会えたら

大学の小さなベンチで始まった「恋」は、
やがて、切なくも優しい結末を迎える__。

マキタスポーツ

中江有里

神田伯山 上門みき ノムラフツノ 友田オレ 石山蓮華

脚本／監督：中川陽介 音楽：沢田穠治

武蔵大学同窓会70周年記念

2025年秋、武蔵大学同窓会70周年記念事業にて順次公開

はじまり

「同窓生が久しぶりに集まるきっかけに、大学を舞台にした映画の上映会なんて、どうだろう?」

そんな同窓会関係者のアイデアからの映画は始まりました。大学を舞台にすることで、最新のキャンパスの様子を同窓生に見てもらいたい。歳を取っても、いや歳を取った今だからこそ、大学を通じて学ぶことの楽しさ、素晴らしいさを同窓生に再発見してもらいたい。そんな意見が集まりました。たまたま土曜講座で講演を行なったばかりの大学同窓生で映画監督の中川陽介さんがご協力を申し出てくれて、映画制作が具体的に決まりました。

大学が作る映画だからといって難しい内容にはしたくない。内容を一任された中川監督はそう考え、大学教授を主人公にしたオーディオボックスなラブストーリーを提案。会議では「いいじゃないか」と好意的な意見が同窓会役員から続出。さすが自主性を重んじる武蔵大学。中川監督の思いのまま、映画制作はスタートします。

大学で沖縄グスク時代の歴史を専門に研究する森下ゼミに、1年間特別聴講生として参加することになった上原凉子(38)。凉子は勤務先の博物館を休職、やる気満々で沖縄からやってきたのだが、ゼミの森下教授(60)はどこか上の空。准教授岡岡(40)によると、森下は妻を病気で亡くし、それ以来元気がないという。その日も凉子の質問にそっけない態度の森下、家に帰るとテレビをつける。そこには、亡くなったはずの妻鈴子の姿が。森下、AIによって仮想現実の中に蘇った妻鈴子のアバターと毎晩語りあっていたのだった。

あらすじ

CAST

マキタスポーツ

映画『苦役列車』で「第55回ブルーリボン賞新人賞」等受賞。他にも「きのう何食べた?」シリーズ、映画『ゴールデンカムイ』等。また『グルメ外道』など書籍も多数出版。



中江有里 (なかえゆり)

1989年デビュー。NHK朝の連続テレビ小説『走らんか!』ヒロイン、映画『学校』等に出演。著書に『愛するということは』(新潮社)。他にエッセー、書評を多く手がける。



神田伯山 (かんだはくざん)

寛永宮本武蔵伝全17席などの「連続物」や、「端物」と言われる数々の読み物を異例の早さで継承した講談師。独演会のチケットは即日完売。講談普及に尽力。武蔵大学卒。



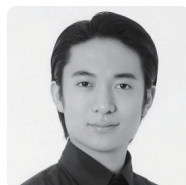
上門みぎ (うえじょうみぎ)

舞台「喜劇『人類館』」、「9人の迷える沖縄人〜after'72〜」映画「コザママ」歌って! コザのママさん、など。地元沖縄を中心に主に演劇界で活動。ウクレレ弾き語りも。



ノムラフツ

女性お笑いコンビ「忠犬立ハチ高」メンバー。24年女芸人No.1決定戦ザ・W3位。高校は演劇部、大学では落語研究会に所属。25年、NHK「東京サラダボウル」出演。



友田オレ (ともだおれ)

早大お笑い工房LUDO出身。歌とフリップネタを合わせた独特のネタが評判に。単独ライブはチケット即完売。23年「ABCお笑いグランプリ」決勝、25年「R-1グランプリ」史上最年少優勝。



石山蓮華 (いしやまれんげ)

TBSラジオ「こねくと」メインパーソナリティ。テレビ東京「日常の絶景」などに出演。著書に『犬もどき読書日記』(晶文社)『電線の恋人』(平凡社)。武蔵大学卒。

STAFF

脚本/監督

中川陽介 (なかがわようすけ)

1997年「青い魚」で監督デビュー。ベルリン映画祭招待。2003年「真昼ノ星空」(鈴木京香、ワン・リーホン) 2008年「群青」(長澤まさみ、佐々木蔵之介) 等。武蔵大学卒。



音楽

沢田穠治 (さわだじょうじ)

映画や舞台作品の音楽、アルバムのプロデュース等、活動は多岐に及ぶ。ブラジル音楽の室内楽トリオ「ショロクラブ」での活躍は30年以上。中川監督とは長くタッグを組む。